

滋賀県内公共図書館の 児童サービスがめざすもの 『しがこどもとしょかん』に期待すること

2023/9/7総合教育会議

滋賀県公共図書館協議会児童サービス委員会
委員長 森 佐江子(長浜市立長浜図書館長)

滋賀県公共図書館協議会（略称：県公図）

- ▶ 会員： 県立図書館、19市町立図書館、(公財)江北図書館
- ▶ 目的： 会員相互の連絡提携を密にし、図書館事業の充実発展を図る
- ▶ 事業： 図書館活動の振興に関すること
職員研修に関すること
県内関係機関との連絡調整に関すること
図書館活動に関する調査研究及び普及に関すること
- ▶ 委員会： 研修委員会、実務委員会、児童サービス委員会、特別委員会



県全体の図書館をつうじた子どもの読書活動の推進とそれに資する職員の育成

各市町立図書館の児童サービス取組事例

- 各市町で策定の「子ども読書活動推進計画」に基づき実施
- 子ども=0歳～18歳としているところが多い



ブックスタート事業



赤ちゃんおはなし会



おはなし会



多言語資料



バリアフリー資料



高校生や大学生との協働事業

各市町立図書館の児童サービス取組事例



ブックリストの発行



園・学校への団体貸出



教職員向け研修会



関係課・団体等と連携事業



おうちで読書事業の協力（アトリチ）



県公図 司書研修会

現在の課題

- ▶ すべての子どもが図書館に来館できるわけではない。

県内図書館の実利用率(1年間に1度でも図書館を使った人の割合)は、平均14%(R4年度)

- ▶ 多様な課題をもつ子どもへのサービスが不十分である。

しょうがい、外国にルーツがある、貧困、不登校 等

- ▶ 本を読む子と読まない子の二極化が進んでいる。

滋賀県子どもの読書活動に関する調査によると、不読者が一定数いる一方で、1か月間の平均読書冊数は横ばい



県と市町の図書館をつなぐ協力車の運行

課題解決に向けて、市町・県・県公図、それぞれの果たすべき役割とは？

滋賀県の強み=県内図書館のネットワーク を生かした取組とは？

『しがこどもとしょかん』

～すべての子どもに、本が届く滋賀をめざして～



学校図書館の充実

*すべての子どもが最も身近に本と出会える場所



多様な課題をもつ子どもへのサービスの充実

*しょうがい児、外国にルーツがある等、誰一人取り残さない



子どもと本をつなぐ大人への啓発強化

*置いてあるだけでは子どもは本を手にとらない



図書館司書・学校司書の資質向上

*子どもたちがよりよい本との出会いをするために

「市町の図書館」
地域の実情に合わせた直接サービス

「県立図書館」
資料のバックアップ、
学校司書配置の支援

「県公図」
専門的な研修機会、
情報共有・提供